

fi-5900C 専用クリーニングシート による清掃方法について



◆はじめに

日常のお手入れとして、お客様に清掃いただくようお願いいたしておりますが、専用クリーニングシートは、**搬送ローラの清掃作業を補助する**ものです。

一日の業務終了後、**当日中に実施していただくことを強くお勧めいたします**

◆搬送ローラの汚れについて

自動給紙タイプのスキャナでは、原稿をローラで搬送することにより読取りを行いますので、ローラに汚れが付着します。読取らせる原稿の種類にもよりますが、

原稿の **トナー、紙粉、ノンカーボン紙のオイル成分、ノリ** 等が付着し、これらが結びついて、ローラ表面に貼りついた状態になることがあり、時間をおくと取れにくくなります。

◆ローラに汚れが付着すると・・・

- ・ スリップが発生し、用紙ジャム発生要因 となります
- ・ 帳票に汚れが転写する場合があります
- ・ 搬送中の動作音が大きくなる場合があります

◆専用クリーニングシートによる清掃

- ・ 専用クリーニングシートは、装置内の奥まった部分にある、清掃しにくい搬送ローラの清掃作業を補助するものです。
- ・ **一日一回、業務終了後に実施**してください。

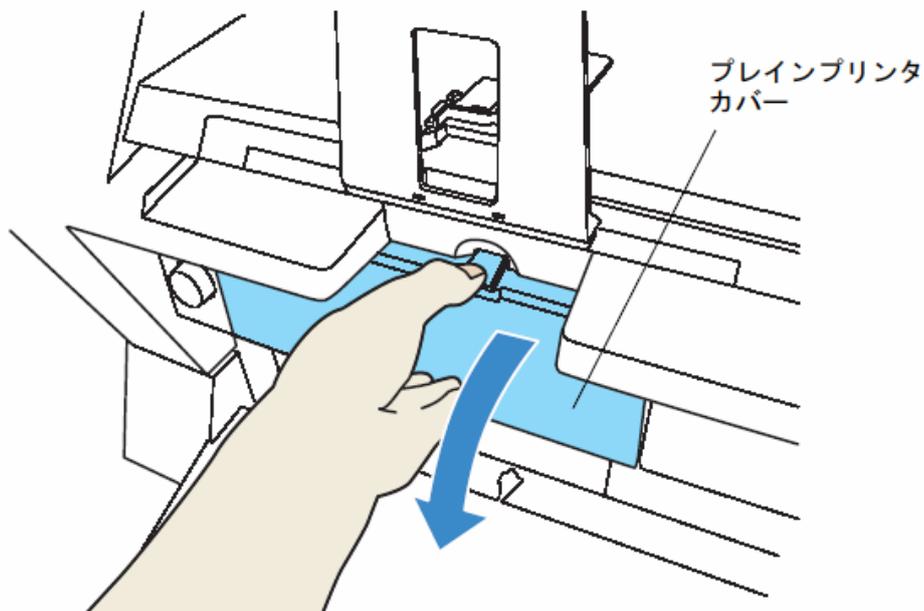
- ・ クリーニングシートによる清掃後、**読取り部ガラス4箇所をクリーナ F1 を浸み込ませた布で清掃**してください（ガラス表面にノリが付着する場合があります）
- ・ 搬送ローラ以外のローラ（ピックアップローラ、セパレータローラ、ブレイキローラ）、用紙通路ガイド面についても、**クリーナ F1 を浸み込ませた布で清掃**してください
- ・ 時間が経った汚れは、クリーニングシートで取りきれない場合があります。この場合は、**クリーナ F1 を浸み込ませた布で清掃**してください

◆注意事項

- ・ 専用クリーニングシートは、装置1台の清掃に1枚使用します。（1枚を2回通紙します）
- ・ クリーニングモードが起動された状態では、装置単体での動作状態となり、PCとの通信ができません。クリーニング実施後にご使用になれる場合は、必ず電源を入れなおしてください。

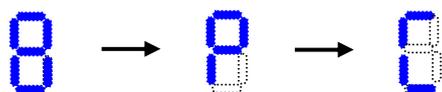
クリーニングモードの起動と清掃実施方法

1. 装置の電源が入っていない状態で、装置前面の プレインプリンタカバー を開きます。



2. オペレータパネルの **Send to** ボタンを押しながら、電源ボタンを押してスキヤナの電源を入れます。

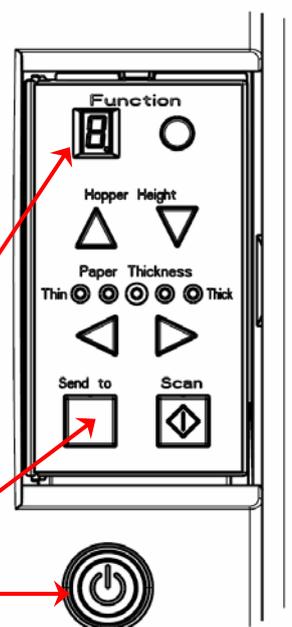
⇒ ファンクションナンバーディスプレイの表示が、以下のように変わります。



ファンクション
ナンバー
ディスプレイ

Send to ボタン

電源ボタン



3. **Send to** ボタンを離します。

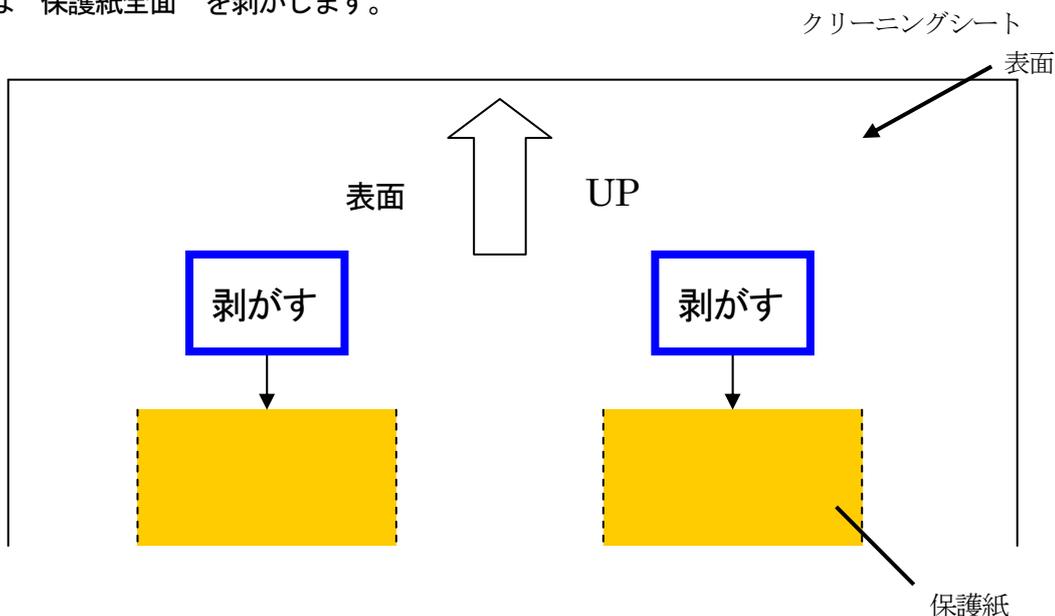
⇒ これで、スキヤナが **クリーニングモード** で起動した状態になります。

4. プレインプリンタカバーを閉じます。
5. ホッパーサイドガイドを A5 以上に広げます。
6. スタッカーエクステンションを伸ばして、クリーニングシートの長さに合わせます。

7. クリーニングシートの保護紙を剥がします。

◇ 表面は **剥がす** と書かれた部分（2箇所）の保護紙を剥がします。

◇ 裏面は 保護紙全面 を剥がします。



8. “表面”と印字されている面を上、矢印↑のマークを給紙ローラ側にして、クリーニングシートをホッパ中央に置きます。

9. サイドガイドをクリーニングシートの幅に合わせてセットします。

10. **Scan** ボタンを1回押します。

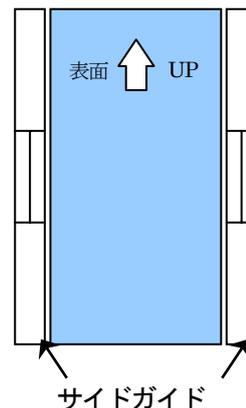
⇒ クリーニングシートが搬送され、スタッカに排出されます。

11. スタッカに排出されたクリーニングシートを“表面”と印字されている面を上、矢印↑のマークを給紙ローラ側にして、再度ホッパにセットします。

12. **Scan** ボタンを1回押します。

⇒ クリーニングシートが搬送され、スタッカに排出されます。

13. 電源ボタンを2秒以上押して、スキャナの電源を切ります。



- ・クリーニングシートで搬送ローラを清掃した後は、必ず読取り部ガラス（4箇所）の清掃を行ってください
清掃は、F1 クリーナを塗布した布で、紙粉やのりが無くなるまで清掃してください
- ・クリーニングモードの状態では、アプリケーションからの読取りを行うことができません。
ご使用前に、必ず電源を入れなおしてください。